

折に触れ 四字熟語

NO. 357 『弾丸雨注』 だんがん うちゅう

< 意味 > 弾丸が雨の降り注ぐような激しさと飛んでくること。

表 言 : ◎弾丸雨注の攻撃 ◎弾丸雨注の戦場で

一 言 : 2月28日「米・イスラエル、イラン攻撃」の報が世界中に駆け抜けました。その後のニュースによると、この攻撃でイラン最高指導者ハメネイ師が殺害されました。イランも反撃して、中東においては、今は弾丸の代わりにミサイル、ドローンといった兵器が飛び交っていることでしょう。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」